

8 山川高校 公共交通機関の便数の増加について

(質問)

山川高校の3つ目の提案になります。

公共交通機関の便数の増加についてです。

指宿市外から来てもらえるように、観光名所を設定する、または、観光名所になりそうな場所を舞台とする、アニメや映画の作成をお願いする、ほかにも、大型商業施設を誘致して公共交通機関を利用してもらうような仕組みにするのもよいかと思っております。

さらに、電車やバスの外見を特殊なイラストにし、乗ってもらいやすくするなどといったことはできないか提案させていただきます。

(答弁)

公共交通機関については、指宿市はなかなか交通の便が悪く、特に山川、開間については便数が少なく、買い物や病院にも行けないということで、指宿市としても、いろんな計画を持って対策しております。

皆さんのお手元に指宿市広域公共交通計画概要版があります。これについては、市民や観光客の移動、ニーズや生活スタイルの変化、運転士不足など、公共交通を取り巻く現状、状況の大きな変化に沿った内容とするものです。

10月には市内を運行する路線バスの大幅減も行われました。そういった公共交通を取り巻く現状を踏まえつつ、市民ニーズをはじめ、地域関係者との協議を行っている状態です。

基本方針として、皆さんが移動できる自家用車がたくさんあります。ただ、自家用車を持っていない方、自動車免許を返納した方々が、買い物にも行けないということで、非常に困っております。それに対して、乗り合いタクシーや公共バスも、学校、病院等に回るように便数を増やそうとしておりますが、なかなか問題の解決に至らないところがあります。それを利用した皆さん方の体験を参考にして、市にもお願いしていきたいと思っております。

また、観光名所については、ホームページに記載されているとおり、解説付きの看板等を設置しております。観光名所を舞台にした映画やドラマについては、過去にNHKの大河ドラマで「西郷どん」、「篤姫」などがありました。

大規模商業施設を誘致し、公共交通機関の整備をするという点については、商業施設の利用客の利便性の向上のために、路線バスが直接、施設に乗り入れているという事例もあり、その路線バスを指宿の観光名所につなげることにより、市民の利便性や観光客の観光地巡りにも役立つと考えます。しかしながら、大規模商業施設は出店を検討する際、その地域の人口や関係人口を背景として商圈を調査します。本

市が店舗維持運営のための条件を満たすかどうかは課題となると考えます。

最近では、電車やバスなどに企業や商品のPRのための車体ラッピングが増えてきました。本市においても、稼げるまちづくりのために、公用車への広告掲載を募集するなど、収入の確保を図っております。今後、市民や観光客に親しみやすいデザインやイラストを施すことで、話題づくりにも役立てたいと思いますので、検討してまいります。